

11

November

- 2 [月]—3 [火・祝] 大道芸 in とよはし ◎PLAT主ホール
- 7 [土]—8 [日] 高校生と創る演劇『Yに浮かぶ』
◎PLATアートスペース
- 14 [土]—15 [日] PLAT小劇場シリーズ
アル☆カンパニー リーディング公演『POPPY!!!』
◎PLATアートスペース
- 17 [火]—19 [木] 豊橋演劇鑑賞会 第281回例会
劇団青年座『横濱短篇ホテル』
◎PLAT主ホール
- 22 [日] シリーズ「古典遊学」シェイクスピア講座
◎PLATアートスペース
- 26 [木] プラットワンコインコンサート2020
Lis『フランスの風に乗せて』
◎PLATアートスペース
- 28 [土] ブラヴィッシモ コンサート
◎PLATアートスペース
- 29 [日] 笑いの学校 第16回ファイナル例会
特別企画 東洋・西洋の文化の祭典
◎PLATアートスペース

12

December

- 7 [月] 豊橋演劇鑑賞会 第227回例会
劇団東演『マクベス』【振替公演】
◎PLAT主ホール
- 8 [火]—9 [水] 東三河インターンシップフェアNo.1
◎PLATアートスペース
- 10 [木] 大学・短期大学・専門学校 進学相談会
◎PLATアートスペース
- 11 [金] 曾部遼平 増田達斗 リートデュオリサイタル
◎PLATアートスペース
- 12 [土] Noism Company Niigata 実験舞踊 vol.2
『春の祭典』/『Fratres III』(プレビュー公演)
◎PLAT主ホール
- 13 [日] 第12回 小春風ライブ ◎PLATアートスペース
- 14 [月] 立川志の輔 独演会【振替公演】 ◎PLAT主ホール
- 18 [金] 平手祐紀カルテット クリスマス・ジャズ・コンサート
◎PLATアートスペース
- 19 [土] 小曾根真 クリスマス・ジャズライブ ◎PLAT主ホール
- 20 [日] 豊橋吹奏楽団 クリスマスコンサート ◎PLAT主ホール
- 24 [木]—26 [土] 豊橋演劇鑑賞会 第227回例会
劇団東演『マクベス』【振替公演】 ◎PLAT主ホール
- 24 [木] プラットワンコインコンサート2020 Trio Esters
『フルーツで贈る煌めく世界〜心躍るリズムに乗せて〜』
◎PLATアートスペース
- 27 [日] 2020 ゆかり会 Petit Concert
◎PLATアートスペース



表紙/金森 稔 (Noism Company Niigata)
実験舞踊 vol.2『春の祭典』/『Fratres III』
撮影: 篠山紀信
裏表紙/平田 満『POPPY!!!』 撮影: 宮田明里
企画・発行/公益財団法人豊橋文化振興財団
編集・デザイン/味岡伸太郎+有限公司STAFF
令和2年10月発行 46号[隔月発行]



PLAT NEWS

公益財団法人
豊橋文化振興財団情報誌
2020年11月—12月
vol.46



TOYOHASHI
ARTS
THEATRE
PLAT

CONTENTS

表紙: Noism Company Niigata
金森 稔

2

INTERVIEW:1

高校生と創る演劇『Yに浮かぶ』
演劇は生きている限りやれる。
藤原佳奈、佐藤幸子、佐藤路子

4

INTERVIEW:2

『POPPY!!!』
場所や時間にたたよう「匂い」を探す。
平田 満

6

INTERVIEW:3

Noism Company Niigata
実験舞踊 vol.2『春の祭典』/『Fratres III』
総合芸術としての舞台を求めている。
金森 稔

8

INTERVIEW:4

小曾根真 クリスマス・ジャズライブ
ジャズは何が起きるかわからない。
それを楽めるかどうか。
小曾根 真

10

豊橋アーティスト・イン・レジデンス 2020
ダンス・レジデンス

12

INFORMATION

PLAT主催公演情報

14

PURA PURA

バラコの寄り道ぶらぶら
桑原裕子
「涙はご法度なのだけど」

15

SUPPORT

TICKET CENTER

裏表紙: 『POPPY!!!』
平田 満
PLAT CALENDAR

佐藤幸子[さとう・さちこ] / 大阪府出身。2011年上京。大阪と東京で7年間幼稚園教諭、保育士を勤める。mizhenの作品に主に出演。舞台以外では、俳優染谷将太監督『シニラーバットディファレント』クリアアサヒCM『みんながほめる櫻井』篇などに出演。また、中学生に向けて書いた『とんな4人』が「2020年子どもが上演する脚本募集」に入選するなど、少しずつ活動の場を広げている。

佐藤路子[さとう・ふきこ] / 俳優。フィンランドの小学校でインターンののち、演劇を始める。mizhenでは主に俳優と、全作品の劇中歌を手掛ける。2019年からは古典の朗読パフォーマンスや、小学生を対象にした演劇ワークショップで全国を回っている。今年6月からyogaを始め、9月にはインストラクターの資格を取得した。唄うことが好き。

にまつわる人の話を元にしなが、架空の「Y」という街に生きる高校生についての作品を創ることにしました。

人間と妖怪、植物や動物が行き来していて、劇場空間をいろんな次元に連れて行くような、昔と現代、戦時中や戦後、あらゆる時間が過去も現在も関係なくなるような、時間のグラデーションを行き来できるようなもの。それを高校生の体で断片的に語る形を考えています。これは抽象度の高い表現だし、難しいかもしれないと思いますが。

として、ぜひやりたいのが、高校生の皆さんと一緒に歌を作り、声でいろんな雨の音が鳴り響く空間を作ってみたいと思っています。

矢作—— 最後に、上演に向けた皆さんの思いを。

佐藤幸—— 今まで自分が大事にしてきたことを元に彼らに伝えたことが、人生の糧や、のちのち思い出している気持ちになるという時間と本番になればいいと思っています。

佐藤路—— 高校生の時に面白い大人に会いたかったので、いろんな人がいるな、いいんだ自分はこれで、と思える要素の一つになればいいと思っています。

藤原—— 参加者とスタッフの皆さんと一緒に、どういう状況であっても「これはしかし演劇である」という作品を創り、「人間なめんよ、コロナよ。演劇は生きている限りやれるんじゃい!」と証明したいです。

矢作—— ありがとうございました。

にフィットするのを発見しました。

矢作—— 高校生と一緒にというオファーを受けた時に感じたことと、実際にやってみた感想はいかがですか。

藤原—— 高校生という分類をせずに、一人の人間として向かい合いたいと思っていましたが、実際に会うと、問いに返ってくる言葉や考えが、想像以上に大人で、人間としてもリスペクトするところが沢山ありました。あと、吸収して次へいくステップが、桁違いに早くて驚きました。

佐藤幸—— 休憩時間の様子はやはり高校生ですね。大人は休憩取りたいのに彼らは元気で、体力の違いを感じます。みんな素直で、キラキラ度やエネルギーが体に溢れている。あの爆発力は高校生にしか出せないものがある。

佐藤路—— 接している内に一人一人の既に来上がった個性がパッと出てきて、面白いなと思いました。

矢作—— 高校生と一緒にどのような作品を作りたいと思っていますか。

藤原—— 原案として、遠野で聞いた人の話や山男の話など、人間ではない生き物の話書かれている柳田國男の「遠野物語」が浮かびました。私はこういう状況になって、ウイルスや植物、動物等の人間以外の生き物に、より興味が出てきました。せっかくなら豊橋の民話を、と調べてみると、待ち構えていたように豊橋は民話が豊富な土地でした。いくつかの豊橋の民話や豊橋

が辛い時期に森山未来さんのダンス劇を観たのがきっかけです。当時は大阪に住んでいたのですが、夢中になってわざわざ東京に舞台を観に行くようになって。とはいえ、自分が演劇を始めるなんてそんな馬鹿な、と最初は思っていました。それから2年くらい悩みつつお金を貯め、ENBUゼミナールなら受講期間は1年で、卒業公演を終えたら気が済むだろうから、また帰ってこようと思って上京しました。

佐藤路—— 私が通っていた桜美林大学には劇場がいくつもあり、500円で学生演劇を観れたんです。最初に観たのが平田オリザさんの『バルカン動物園』。小さい劇場での上演で、人はこんなに物語に入ることが出来るのだと衝撃でした。大学を卒業して「演劇をやろう」となったが、やりかたがわからなくてENBUゼミに入りました。

矢作—— mizhenのクリエーション方法の特徴は。

藤原—— 初期の頃は、私は本を書いて、音や動きの指示を役者に出すのが演出家だと思っていました。でも先輩から「演出が脚本を超えないね」と言われて、それは私のアイデアだけでやっているからではないか、俳優と一緒に練っていく形にしたらもっと面白い作品ができるのでは、と思いました。ここ数年試行錯誤して、問いや遊び道具、大事にしたいことを真ん中に置き、みんなで「どうするこれ」という形で取り囲むように意見を出し合うクリエーションが、mizhenとしての共同作業

藤原佳奈[ふじわら・かな] / 演劇家。mizhen代表。演劇テキストの執筆、演出。2019年に取り壊し直前のアパートでmizhen『裏参道フェス』を開催。能楽堂で現代演劇を上演するなど、特定の場で湧き上がる体感と、作品の関係性に焦点を当てた作品を発表。最近では、leap2liveに参加しオンライン作品も創作。演劇を用いたワークショップや企業との共同企画、アートスナックの運営等、身体の触発を生む場づくりも積極的に行う。『Sの唄』で北海道戯曲賞優秀賞受賞。第5回QSCで『マルイチ』がグランプリ含む4賞受賞。

演劇は生きている限りやれる。

聞き手 矢作勝義 穂の国とよはし芸術劇場PLAT芸術文化プロデューサー

テキスト・演出
藤原佳奈



11月7日[土]13:00開演 / 18:00開演
11月8日[日]13:00開演 / 17:00開演
テキスト・演出 = 藤原佳奈
出演 = オーディションで選考された高校生
会場 = PLAT アートスペース

高校生と創る演劇

『Yに浮かぶ』

傘を、捨てた。雨の音が響いた。私は、雨になった。



演出助手
佐藤幸子



演出助手
佐藤路子

矢作——今回若い人と企画を立ち上げられた経緯と、アル☆カンパニーラボとしてどのような事を考えておられるかをお聞かせ下さい。

平田——若い人とやりたいというよりも、今まで出会ったことのない人とやるとしたら、必然的に若い人になる。次はバーンとはっちゃけて明るいのをやりたいと、井上加奈子が言ったのです。僕らもだんだん歳を重ねていくと身も心も重くなっていつちゃう。でも自分自身は、そういうのを若い頃好きでやっていた。知り合いや今回出演する(平田)耕太郎に、「若い人で面白い人いない?」と聞いた中の一つを拝見し、観終わった時には2人の間で、「次この人でいいよね」と即決。すぐに連絡して、オーケーをもらいました。

矢作——そうして声をかけられた野田さんは、普段どんな活動をされていますか。

野田——桃尻犬という、所属は僕1人の演劇団体をやっています。最近、町の隅っこにいる人たちのどうしようもない生活に変なことが起きて、みんなが大きい声を出して怒ったりする芝居をやっています。

矢作——俳優としても活動されていますが、どうしてお芝居を始められたのですか。

野田——演劇科の高校に通い、そこで演劇に触れて、東京に出てきて初めて小劇場見て、面白いと思ったんです。

矢作——劇作、演出、出演で一番得意な分野は。

野田——難しいですね。どれかに軸足をというわけではなく、両方同じように出来たらなと思っています。好きなのは本を書くこと。

矢作——影響を受けた劇作家や演出家はいますか。

野田——東京に来て初めて読んだのが大人計画の松尾スズキさんの戯曲で、全然観たことないものだなと思ってから小劇場に興味を持ったし、それは面白かったです。

矢作——突然平田さんがいらっしやった瞬間どう思われましたか。

野田——最初誰かわからなくて。帽子を脱いでくださって「おおっ」、「なんだなんだ」という感じでした。本当にびっくりして。「面白かった」と言ってもらって嬉しかったです。

矢作——最初に、どんなものを作ろうと話されましたか。

平田——基本、作家の方にお任せですが「腰が抜けるほど笑える本にしてくれ」と、つい言いました。(笑)

矢作——初めて平田さん・井上さん世代の方と新作を創ることについて、考えていることはありますか。

野田——これまでそういう機会がなかったので、ありがたいと思っています。今までは、僕と同世代の人達の今を書いていたのですが、平田さん世代の人達が終わりが見えてくる時期になって、どういう生き方をするのか。それは僕と同世代の人たちではリアリティが出ない、その面白さが出ると思います。

平田満[ひらた・みつる]／愛知県豊橋市出身。2018年3月まで穂の国とよはし芸術劇場PLAT芸術文化アドバイザーを勤め、同年4月より同劇場アシエイトアーティストに就任。つかこうへい事務所にて俳優活動をスタート。映画・テレビ・舞台などに数多く出演。映画『蒲田行進曲』で日本アカデミー賞主演男優賞など受賞。主な舞台に『白蟻の巣』『星回帰線』『THE NETHER』など。『海をゆく者』、『失望のむこうがわ』で第49回紀伊國屋演劇賞受賞。2005年よりアル☆カンパニーを設立。『荒れ野』『父よ!』『失望のむこうがわ』などを制作。

矢作——コロナウイルスの影響で、今年はリーディング公演、来年本公演という2年計画になりました。ご自身の活動ではどのような影響がありましたか。

平田——去年舞台が続いたので今年はたまたまアル☆カンパニーしか計画がなかった。それでよかったなと。今回、野田さんと7人でビデオ会議して、やはり怖いとか、僕らに移しちゃいけない(ああそうか、高齢者に思われているのだなと思いました。)という人もいれば、関係ない、やれるものならやりたいという人もいました。企画プロデューサーとして、最大限感染防止に配慮するならやめればいいのですが、後ろ向きに全部やめて、この座組を1年、2年待って、みんなが今と同じ気持ちでいられるのかと。1年延ばしはいい、でも今年なにかやらないと。作・演出には、書いてから1年開けることになるが、それはその良さがあるし、ガラッと変わってもいい。来年どうなっているかわからないし、せつかくスタッフキャストが集まったのでなんらかのことはしたいなと。豊橋に呼んでくださったおかげで今年と来年と、贅沢な時間をもらえ、とても楽しみです。

矢作——作品の構想をお聞かせください。

野田——平田さん達もちろんですが、耕太郎さんも出てくれることで、やはり家族の話になると思う。今までは同世代の人とやってきたので、親世代が出てこなかった。今回平田さん達が出演してくださるから、親と娘、

親と息子という関係性が、初めて書けるなと思っていて。どうしようもない親と、どうしようもない子ども達を、それでも愛せるということ。笑って見られる家族たちの姿を見せられると良いなと思っています。間違っただけ、どう最後を迎えるか、最後を迎えないかもしれないし、死んでまた生き返るかもしれない。怪物が出てくるかもしれない。

平田——今回はリーディングなので、演出を省くところもあると思いますが、言葉で想像を喚起させられればなと思います。今の状況だと小さい空間ではあまり動き回るのは難しい。最悪、座ってフェイスガードして上演します。

野田——うちのお芝居はよく、大声で怒鳴りあうんですが、リーディングなら大きな声を出さなくてもいい。そこをどうしたら面白いかなと考えています。

矢作——来年に向けて、ただ単に楽しいだけではない笑いが出る作品を期待しています。

平田——しんみりと悲しいというのではないが、思い当たる所はきっとあると思います。特にダメな男の人は(笑)。

野田——基本的に、みんなひどい目に合うという形にはなると思います。

平田——でも、全然嫌な感じがしないんですよ。ブラックと言えばブラック。底抜けな所もあって、ねっとりした感じではなく、若い人も、歳を重ねた人も楽しめるんじゃないかなと。あと若い女性もね。

矢作——豊橋での公演を楽しみにしています。

野田慈伸[のだ・しげのぶ]／桃尻犬代表。劇作家・演出家・俳優。1987年生まれ、兵庫県出身。桃尻犬全作品の作・演出・出演のほか、多数の他劇団への出演や映像作品への脚本提供、出演も務める。地方都市の隅っこの方で生活している人たちや、底辺と呼ばれる人たちの生活や人生を明るく楽しく描く。時間と空間が限定されず混在する作品が特徴。好きな映画は『悪魔のいけにえ』と『デモリションマン』。

INTERVIEW:2

11月14日[土]14:30 開演
11月15日[日]14:30 開演(追加公演)
作・演出=野田慈伸
出演=平田満、井上加奈子/
町田水城、平田耕太郎、徳橋みのり、青山祥子
会場=PLATアートスペース
PLAT小劇場シリーズ
アル☆カンパニー

リーディング公演
『POPPY!!!』
ポーピー



出演 平田満

聞き手 矢作勝義 穂の国とよはし芸術劇場PLAT芸術文化プロデューサー
場所や時間にただよう「匂い」を探す。

作・演出 野田慈伸



総合芸術としての舞台を求めている。金森 穰

演出振付



矢作 — NoismにPLATへ来ていただくのは初めてですが、金森さんはどんなきっかけでダンスを始められたのでしょうか。

金森 — 父が自宅の1階でダンスを教えていて、そこで6歳の時にジャズダンスを始めました。そのあと8歳でタップダンス、10歳からバレエ。中学生からは、東京の牧阿佐美バレエ団に入りました。牧阿佐美先生が芸術監督をされていたジュニアバレエや、父の師匠である堀内完先生のユニークバレエシアターに通い始め、そして17歳から10年間ヨーロッパに行きました。

矢作 — 日本に戻ってこられて、新潟のりゅーとびあの舞踊部門の芸術監督に就任しNoismを立ち上げられました。

金森 — 当初は舞踊部門芸術監督として、東京に住みながら「新潟でこんなことをやってほしい」というアドバイスを求められていたんだと思います。しかし、ヨーロッパと違う日本の劇場文化の在り方に違和感というか、もったいないと思っていたので、引き受けるのであれば新潟に移住し、舞踊団を立ち上げる方が劇場文化として豊かになると提案しました。

矢作 — Noism0、1、2という3つのグループは、どのよ

うな活動をしているのでしょうか。

金森 — カンパニーを設立した当初は、限られた予算の中でプロフェッショナルなカンパニーとして、メンバー10人、制作1人とプラス自分での12人体制でやれば可能性があると思えました。5年経った頃には、メンバーが1年で東京に帰ったり海外に出たりと入れ替わりが激しくなりました。新メンバーが来るたびに、一からNoismのメソッドを教え、ようやく覚えたという頃に辞めたりで。ステップアップ出来る環境を作らないとカンパニーとして成熟しない。ということで、2009年に「Noism2」という研修生のカンパニーを作りました。

そこから10年活動してきて、私も井関佐和子(副芸術監督)も40代。そうすると20代前半と40代の舞踊家と同じ演目で同じ役割をやるのは非現実的だし、円熟した舞踊家には円熟した舞踊家の良さがある。若者には若者の良さがある。それをカンパニーの構造として活かせる枠組み、ということで「Noism0」を2015年に立ち上げ、昨年の9月から正式に活動を開始、所属は自分を含めて3人です。他県へのツアー公演では、Noism1メンバー 11人全員が参加するものでなく、もうちょっと小規模の依頼もあります。そういったときに、じゃあNoism0でと、枠組みを増やすことで、カンパニー活動も充実していきますね。

矢作 — 今回『春の祭典』を取り上げた理由をお聞かせください。

金森 — 『春の祭典』は、私の恩師モーリス・ベジャールの代表作。それに対する意識と、ピナ・バウシュとベジャールという、二大巨頭の『春の祭典』が今の時代も上演されている中、自分が着手することにモチベーションがわがらず、なかなかオリジナルのインスピレーションもあかなかったのですが、昨年、東京都交響楽団と

のコラボレーションとして『春祭』を上演するという話をいただきました。オーケストラが舞台上にいて、その前の狭いエリアで踊るという制約が課された中で、自分はどうな『春祭』をと向き合ったら、面白そうなコンセプトが見つかりました。実際作り始めてみたら、どんどん拡がって、Noismとして、大空間を使つての劇場版も発表しようということになりました。

矢作 — この『春の祭典』の「実験舞踊vol.2」の冠はどういう意味なのですか。

金森 — 昨年年明けに発表した『R.O.O.M.』という作品のコンセプトが、舞台の袖や横、奥に演者が出たり捌けたりする舞台袖があり天井は照明という、舞台芸術では当たり前の空間をいったん閉ざして、完全に箱で覆い、その箱の中で何が展開できるか。その冠として実験舞踊を掲げました。音楽からインスピレーションを受けたり、物語から展開させることより、例えば『R.O.O.M.』であれば、この箱でやるというルールを設けたり、今回の『春祭』であれば、出演している舞踊家に担当楽器を割り振り、フルートの子はフルートの音に徹して動くというルールや法則をまず設け、そこから生み出されたものから作品を作る、そのプロセスを実験舞踊と呼んでいます。

矢作 — 金森さんが演出振付というクレジットが使われる理由をお聞かせください。

金森 — 日本で「振付家」と言うと、歌手の後ろで踊るダンサーや、CMのタレントの動きをつける人というニュアンスが強く、舞台芸術を作る人と捉えてもらえない。自分が学んだ振付家は、舞台芸術を作る。構成も、演出も、照明も彼らが考え、総合芸術としての舞台芸術を作る人の事をヨーロッパではコレオグラファーという。日本だとそれは多分演出家といわれる人。だから演

出と振付を一つの造語として演出振付をする人としたらわかりやすいと思っています。

矢作 — 12月に豊橋でご覧になる方たちへ、ぜひ一言いただければと思います。

金森 — 今この時代、この社会、この瞬間を生きている芸術家としての作品なので、当然、みなさんが感じていること、考えていることと、どこかでリンクする。誰にとってもアクチュアルだし、われわれは総合芸術としての舞台を求めているので、演劇や音楽、舞踊が好きなら、舞台芸術全般が好きなら、映画が好きならでもいい、そういう表現行為を楽しむ素養のある人、人生の中でそれを見るのが好きな人はぜひ。「私は演劇の方が好きだから」といつて観に来ないのは残念ですね。Noismは海外の演劇祭にも呼ばれています。豊橋で演劇活動をしている方も、ぜひ観てほしいです。音楽ファンなら誰でも知っているストラヴィンスキーの『春の祭典』を「こういうふうには舞踊化して発表するんだ」という音楽的な視点でもぜひ観てほしい。ジャンルで考えず「なんか面白そうな舞台芸術」と足を運んでいただけたら嬉しいです。

矢作 — ありがとうございます。豊橋でお待ちしています。



12月12日[土]16:00開演 会場=PLAT主ホール

演出振付=金森穰 出演=Noism0、Noism1、Noism2

音楽=I.ストラヴィンスキー《春の祭典》、A.ペルト《Fratres for Violin, String Orchestra and Percussion》

Noism Company Niigata

実験舞踊 vol.2 『春の祭典』 / 『Fratres III』

プレビュー公演

小曾根 真

クリスマス・ジャズライブ

合言葉はIt's Ozone Time!

12月19日[土]17:00開演

出演=小曾根真

会場=PLAT 主ホール



小曾根真[おぞね・まこと] / パークリー音楽大学を首席で卒業後、全世界デビュー。チック・コリア、ゲイリー・バートンなど、トップ・ミュージシャンとツアーを催行するほか、ソロ、ビッグバンドなど、ジャズの最前線で世界的に活躍。近年はクラシックでの躍進もめざましく、NYフィル、シカゴ響をはじめ欧米の主要オーケストラとも共演を重ねている。また、演奏のみならず舞台、映画音楽の作曲を手がけるなど、マルチな才能でボーダレスな活動を続け注目を集めている。平成30年度紫綬褒章受章。
公式サイト:
<http://makotoozone.com/>

RINA / 国立音楽大学卒業後、パークリー音楽大学入学。現在、ニューヨークを拠点に活動。2018 エリス・マルサリス国際ジャズ・ピアノ・コンペティション第2位受賞。「彼女の発する音のストーリーに我々は聞き入った」とエリス・マルサリスから賞賛を得る。2020年9月2日ヤマハミュージックコミュニケーションズより全曲オリジナルのデビューアルバム「RINA」リリース。
RINA official website:
<https://rina-official.com>

小曾根—— そうですね、いつもはバンドで行ったり、ゴンサロ・ルバルカバと行ったり。

中島—— 今回は小曾根さんの指導を仰いでデビューしたRINAさんが出演されることになりましたが、それもまた楽しみですね。

小曾根—— 新人はなかなか出てくるチャンスがなくて。演奏に関しては、学校を卒業したところで相当の実績がついてるし、実力もあるんだけど、実際にお客さんの前でプロとして演奏していくというのは、お客さんに育てられ鍛えられる、磨いてもらうものなんですよ。これだと思える自分の演奏をわざわざちゃんとお金を払って観に来てくださっている人の前で発表するということは、自分の出すものに責任をとることになるので一個一個の積み重ねというのがとても大事で。僕もジャズの第一線でやってる人たちに育てられてきたものですから、彼女達に対しては音楽的なことだけではなくチャンスのステージへの橋渡しができたらいいなと思っています。

中島—— 豊橋のお客様に何か一言いただければと思います。

小曾根—— こういう状況下で、公演がどうなるかわからないですけども、僕らが置かれた中で精一杯豊かで幸せな時間を過ごせるように頑張りたいと思っています。とにかく、皆さんとその時間を共有できるように。ジャズはアドリブで演奏するので、フィジカルな状況にあまり翻弄されないし、本番では何が起きるかわからない。それを楽しめるかどうかということが、実は人生をどれだけ豊かにしていくかということのもの凄く大きなキーポイントだと僕は思っています。

中島—— いちばんの喜びはアクシデントをどう楽しむか、ですね。

小曾根—— どうしたって携帯がなっちゃうことだってあるしね。膝の上に置いているチラシの束をピアノニッシモのときに落とす人もいるし。そんな時は、僕はまた魔物が悪戯しているよと笑うんですよ。要するに僕らが楽しんでしまえば、何があってもお客さんと一緒に楽しい時間が過ごせる。だから、試されてるんですよ、人間は。必ず試されている。皆で、匂いもしない、音と画だけのインターネットで皆さんあんなに楽しんでいただけですから、これが生だったらもっともっと楽しいはずですよ。静かにしんとして聴いてなさいと言わなくても、音楽が良ければおそらく黙って聞いてくださるはずですし、つまないとザワザワするだろうし。そんなやりとりが豊かな時間で皆さんとコンサートを創る。僕だけじゃないですよ、皆さんと共に音楽を創っていくので、そんな時間を一緒に共有できたら最高だと思っています。

中島—— 合言葉は「It's Ozone Time!」ですけど、皆と一緒に創るOzone Timeということで楽しませていただきたいと思っています。ありがとうございます。

中島—— 小曾根さん、お元気ですか。

小曾根—— 生きてます、なんとか。(笑)

中島—— 今年は2月の児玉桃さんとのコンサートに続き2回目の登場ですね。外出自粛中の時期に小曾根さんがお家から「Welcome to Our Living Room」を配信されて話題になりましたが、どんな思いでやってらしたんですか？

小曾根—— 正直なところ、凄く楽しんでやりましたね。最初はやっぱりいろんな思いがあって。音楽が不要不急とか、芸術は生きるために必要なものじゃないというようなことを発言をする人が多かったから。「いや、それは違う」というのを言葉で議論するのではなく、実際に音楽を必要としている人がいるんだということ、僕は世の中にメッセージとして伝えたかった。音楽や絵、文学など、感性というものを活かし続けるのが芸術だと思うんですよ。音楽を必要としている人が絶対にいるだろうと思っただけ、曲を知っていても知らなくても、音楽を聴いたら気持ちが穏やかになるとか、切なくなるとか、そういうことをまず証明したかった。

あとは、こういうときだからと、今までサポートしてくれた皆さんに恩返しをしたいね、と妻(女優:神野三鈴)と話し合っただけで、何故なら皆さんがチケットを買ってくださったお金で僕らの生活は成り立っているわけだから。

中島—— スタートしてから53日間連続配信でした。

小曾根—— 最初は2、3日に一回くらいでと思っていたんだけど、やめられなくなって。こういう有事のときは日常というのがなくなってしまっただけですよ。それで、毎晩9時にここにくると僕らはいるよという場を三鈴が作りかけた。だから毎晩というのがマストでした。でも、一週間、10日くらいたったところで、色々な方から「小曾根さん、そろそろ休んでくださいよ」と言われて。それでもなんか休めなくて。

中島—— 私達にはとても励みになりましたけど。

小曾根—— 僕らの場合はアメリカのロックダウンが早かったから、これは準備しておいたほうがいなと思っていました。どうしても僕はいい音を届けたかったの、慌ててピアノを調律して、ツアーと一緒に行くはずだった音響の伊藤君に連絡をとって、「うちにきてマイクのセットアップして」って頼んで。それで最初、テスト的に鳴らしたら…。「なんでこんな音がいいの?」ってコメントが凄く多かったですよ、びっくりするくらいに。

中島—— 臨場感あふれる演奏でしたからね。皆さんのライブへの楽しみが一段と深まったのではないかと思っています。また、今回の公演ではブラジルからゲストが来てくださる予定でしたが、残念ながら来日が不可能になってしまいましたが、考えてみたら小曾根さんのソロってとつても久しぶりですよ。

聞き手 中島晴美 種の国とよはし芸術劇場PLAT シニアアンチテーザー

ジャズは何が起きるかわからない。それを楽しめるかどうか。小曾根真

ピアニスト

穂の国とよはし芸術劇場PLATでは、国内外で活躍するダンスを中心とするアーティストを招聘し、創作環境の提供と活動の支援をするとともに、市民とアーティストが交流する機会を設け、市民がダンスを身近に体験することのできる「ダンス・レジデンス」を2017年より実施しています。今年度は4組のグループが7月～1月にかけて豊橋に滞在します。ぜひご注目ください。

豊橋アーティスト・イン・レジデンス2020 ダンス・レジデンス

アルケー arche

滞在日程
2020年12月14日[月]～27日[日]
滞在内容
井田亜彩実・黒須育海による新作デュオ作品、および愛知県在住ダンサーによるグループ作品の創作活動として

2019・20年度レジデントアーティスト鼎談

2019年度滞在の白神ももさんと、今年度滞在する arche・井田亜彩実さん、京極朋彦さんによる鼎談を開催。

上栗——「アーティスト・イン・レジデンス」とは、一定期間ある土地に滞在して、普段とは異なる環境で作品制作やリサーチをすることですが、普段とは異なる場所で創作することについて、どのように感じておられますか？
京極——僕は自分の興味がある事って大体一緒に、あまり沢山作品を作らずに、人を変えて再演することが多いです。日本のダンサーと作ったものを、海外のダンサーと作り直すのも多いです。日本語と英語を喋るときではコミュニケーションに差が生まれて、自分のキャラクターまで違って来たりします。国内でも、滞在した町や人、空気、そして日々の事から切り離されて創作に集中できる時間や環境の影響を受けて、自分自身のキャラクターが変わってくると思います。
上栗——イスラエル生活が長かった井田さんはいかがですか。
井田——6年いたのですが、英語が全く喋れないまま行っただけです。「なんとかかなかな」って。苦労はしましたが、常に「YES」といっていました。「これ出来るか?」「YES」。「歌、歌えるか?」「YES」。「明日本番だけこの振り今日中に覚えられるか?」「YES」。何を言われているかわからないからYESと言ってました。でも振り返ってみると、それが本番に繋がり、歌のパートが増え、気が付いたらそのまま作

京極朋彦

滞在日程
2021年1月19日[火]～1月30日[土]
滞在内容
『喪服を洗う女』韓国・日本での上演を目指した再創作および地域コミュニティへのリサーチとして



井田亜彩実 © hitoha.nasu

聞き手 上栗陽子
穂の国とよはし芸術劇場 事業制作部

品にわけ始めるような状況になった。NOと言ったら、その道はなかったのです。できるできないは後にして、チャンスがあるなら、とにかく飛び込んでみるという気持ちでした。精神的にタフになりましたし、出会ったメンバーもアットホームですごくいい人達でした。その頃、私は間違えないように踊ることの意識が強かったのですが、ある時、メンバーに「僕と踊ってる?僕は存在してる?その方が大事じゃない?」と言われて。そこから、この瞬間、空間、お客さん、仲間を意識が向けられるようになりました。
上栗——白神さんはいかがですか。
白神——一昨年タイに行きました。最初はちゃんとした人っぽくしなくて、と思ってましたが、英語もあまりうまく喋れず。それで最終的にはただの困っている外国人になった途端にすごくやりやすくなりました。みんなが助けてやろう!って。この開き直りが大事だと思いました。昨年度は豊橋に1週間ほどいましたが、最初立てた計画からちょっと外れて海に行ったり、地元でお喋りをしてる方を紹介してもらったり。最後の試演会に来てくれた市民の方々からは結構突っ込んだコメントを頂けたりもして、凄く刺激的でした。
上栗——井田さんと京極さんは豊橋で出会いたい人や場所はありますか。

井田——その場での出会いは大事にしたいです。例えば音楽や衣装を作る方とか、その地方のアーティストと作品を作るような出会いがあったらいいと思います。
京極——今回、豊橋市の在日韓国人コミュニティと出たいと考えています。僕がそもそも韓国の人に興味があって、ここ2、3年行っていて伝統舞踊も習っています。今日の皆さんの話を聞いていて、観る人が変わることは、かなり作品を変える気がしました。誰に向けて作るのか、それが、日本人向けか、韓国で韓国人に向けて作るかでも全然違う。更に受け取られ方も色んな間違いも含めたコミュニケーションは起きて、それがアーティストには財産になります。そして僕はやっぱり他者に会いたくて、それが場所を変えたら必然的に会ったことない人に出会える事に繋がると感じています。
白神——豊橋では一軒家に住みました。PLATから自転車ですぐ行けるのですが、とても良かったです。毎日道を変えたり、住んでる人や地元のお店の人間模様を見たり。自宅とは違う間取りの家での生活も、身体に変化を与えますし、本当に僅かですけどこういう経験は面白いですね。
上栗——井田さんは12月の年末、京極さんは1月に、お待ちしております。



白神ももこ試演会



京極朋彦

滞在レポート

7月16日(木)から8月1日(土)まで、敷地理さんが5名のダンサーと共に滞在制作を行いました。敷地さんは、横浜ダンスコレクション2020コンペティションIにて「若手振付家のための在日フランス大使館賞」を受賞し、今注目を集める新進気鋭の若手アーティストです。
今回の滞在制作の目的は、TPAM(国際舞台芸術ミーティングin横浜)2020のフリンジプログラムにて発表した『振動する固まり、ゆるんだ境界』のリクリエーション(再創作)。敷地さんがベトナムの動物園で見た、自分の意図に反して振動する動物に心を動かされ、そこから「振動」というムーブメントをヒントにクリエーションを行ってきた作品です。
17日間、PLATの創造活動室Aにて集中的に再創作・稽古に取り組みました。彼らは、進行役を毎日交替しながらウォームアップをして日々のスタートを切ります。
2人以上での動きのワークも行うことで、自らの身体だけでなく、他のダンサーの身体とも向き合い、身体感覚を磨きます。クリエーションでは、ダンサー同士が意見や感想を言い合いながら動きや表現を創り、積み重ねていきます。
時には一旦壊して、新たに創り直すことも。

敷地理

滞在日程
2020年7月16日[木]～8月1日[土]
滞在内容
『振動する固まり、ゆるんだ境界』リクリエーション、および新作の構想のため



クリエーションに集中できる時間、場所、舞台設備があることで、アーティストらにとって実験的な取り組みも可能となります。
公開イベントの一つのワークショップでは、新型コロナウイルスの影響もあり、初めてオンライン(ZOOM)で行いました。県外からも参加者が集まり、アナログな個々の身体がデジタル画面上で感覚を共有するという事に挑戦しました。
最終日には成果発表として、作品試演会をアートスペースにて開催しました。客席を取り払ってアートスペースのほぼ全面をパフォーマンスエリアとして使い、観客は好きな場所で鑑賞するスタイル。
試演後のトークでは、観客から質問や感想が寄せられ、アーティストらと観客の対話のはずみでした。観客にとっては作品の受容が深まり、アーティストにとっては客観的な視点とブラッシュアップにつながる新たな発見が得られる機会となりました。
今回リクリエーションした作品は、8月8日、9日に銀座・蔦屋書店の展覧会にて、ダンサー2名の抜粋バージョンで上演が行われました。今後は2021年のTPAMほかで上演される予定です。ぜひ今後の活躍にご注目ください。



© 関暁

BATIK

滞在日程
2020年11月23日[月・祝]～12月7日[月]
滞在内容
BATIK公演の創作活動として/2021年3月神奈川県立青少年センタースタジオHIKARIにて上演予定

BATIK主宰 黒田育世さんから 滞在制作に向けたメッセージ



黒田育世
© 池谷友秀

公演を実施すること、カンパニーで活動すること、ダンサーとして生きていくこと、私たちにしておおよそすべてのことがこれまで以上にどんどん難しくなっています。こんな状況下で2週間もの貴重な時間と空間、そして出会いを頂けること、奇跡だと思っております。この奇跡の期間が「どうして踊り続けてきたのか」と「どうやって踊り続けていくのか」についての、私たちの明るい回答になっていくのだと思います。一番根本的な事をやっとなり、色々な形でやろうとしています。少し感傷的で一番初歩の事ですが、皆さまにお付き合い頂きましたら心底幸甚です。私には見つかることの出来なかった糸口を、PLATという芸術拠点に託して豊橋の皆さまに見るであろう予感に、曇っていた心がこのところ少しずつ晴れてきているのです。お受け入れ頂き、お邪魔できることが、何にも替え難くひたすらにありがたく、嬉しいのです。



託児サービス対象公演

要予約。生後6ヶ月以上。
お一人様 ¥500。お申込み、お問合せはプラットチケットセンターまで

チケットの購入・お問合せ プラットチケットセンター

- 劇場窓口・電話 0532-39-3090 [休館日を除く10:00-19:00]
- オンライン <http://toyohashi-at.jp> [24時間受付・要事前登録]

U25・高校生以下割引ご案内

- ほぼすべての財団主催公演に、若い人にお得な料金を設定しています。
- 料金=U25[25歳以下]:公演ごとに指定する席種の半額/高校生以下:1,000円
 - 購入方法=各公演の一般発売初日から取扱い。
 - その他=本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。座席の指定はできません。要・入場時本人確認書類提示。一部例外あり。詳細は各公演チラシ・HPにて。

チケット販売について

感染予防のため発売初日の窓口販売はなし。
翌日以降残席がある場合は窓口販売あり。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、開催日程・チケット発売日・公演内容等の変更がございます。最新情報はプラットチケットセンターまでお問合せいただくか、劇場ホームページからご確認ください。

鈴木智子『クラシカルクロスオーバーの世界』



マームとジブシー『BOOTS』舞台写真



撮影:井上佐由紀

読売日本交響楽団 特別演奏会



原田慶太楼
撮影:Ariga Terasawa



牛田智大/撮影:Ariga Terasawa

二兎社『ザ・空気 ver.3』



佐藤日作

木ノ下歌舞伎『義経千本桜一渡海屋・大物浦一』



木ノ下裕一/撮影:東直子
多田淳之介/撮影:平岩亨

10/23 [金] 18:30 開演

10/24 [土] 13:00 開演 / 18:00 開演

10/25 [日] 13:00 開演

『ゲルニカ』

●作=長田育恵 ●演出=栗山民也 ●出演=上白石萌歌、中山優馬、勝地涼、早霧せいな、玉置玲央、松島庄汰、林田一高、後藤剛範、谷川昭一朗、石村みか、谷田歩、キムラ緑子 ●会場=PLAT主ホール ●料金=[全席指定]S席10,000円ほか
[特別協賛=サーラグループ]

10月24日13:00のみ

12/12 [土] 16:00 開演

Noism Company Niigata

実験舞踊 vol.2『春の祭典』/『Fratres III』
(プレビュー公演)

●会員先行=10月17日(土) ●一般発売=10月31日(土) ●演出振付=金森穂 ●音楽=I.ストラヴィンスキー《春の祭典》、A.ベルト《Fratres for Violin, String Orchestra and Percussion》 ●出演=Noism0、Noism1、Noism2 ●会場=PLAT主ホール ●料金=[全席指定]一般3,000円ほか

発売延期

11/2 [月] 11:30 開演

11/3 [火・祝] 10:30 開演 / 13:30 開演 / 16:30 開演

【振替イベント】とよはしアートフェスティバル2020

大道芸 in とよはし

5月に新型コロナウイルスの影響により延期となった大道芸を開催します。●出演=中国雑技芸術団、竹内直&Wagan Brothers、加納真実ほか ●会場=PLAT主ホールほか ●料金=[全席指定]無料 ●予約開始=10月18日(日)10:00

【関連イベント】11/2 [月] 19:00 開演

竹内直 & Wagan Brothers スペシャルライブ

●出演=竹内直、Wagan Brothers ●会場=PLAT主ホール ●料金=[全席指定]無料 ●予約開始=10月18日(日)10:00

12/14 [月] 18:30 開演

【振替公演】

立川志の輔 独演会

古典・新作問わず落語に新しい息吹を吹き込む、大人気の立川志の輔による独演会です。(5月11日の振替公演)

●出演=立川志の輔 ●会場=PLAT主ホール ●前売予定枚数終了

12/19 [土] 17:00 開演

小曾根真 クリスマス・ジャズライブ

●出演=小曾根真 ●会場=PLAT主ホール ●料金=[全席指定]一般5,000円、U25 2,500円

好評発売中

2021/1/5 [火] 11:00 開演 / 14:00 開演

【振替公演】プラット親子わくわくプログラム2020

鈴木智子『クラシカルクロスオーバーの世界』

0歳から大人までが楽しめる、クラシックの名曲からジャズ、ラテンまで、ジャンルの枠を超えたピアノコンサート。11:00は0歳児から大人まで、14:00からは小学生から大人が楽しめるプログラムです。

●出演=鈴木智子(ピアノ)、待井裕太(ギター) ●会場=PLATアートスペース ●料金=[全席自由・日時指定・整理番号付]大人1,500円、こども(4歳~高校生)500円、0~3歳 無料(保護者ひざ上に限る)ほか

好評発売中

2021/1/17 [日] 13:00 開演

『ピーター&ザ・スターキャッチャー』

ノゾエ征爾を演出に迎え、あの『ピーター・パン』の前日譚として、ある孤児の「少年」が海賊たちと戦う冒険を繰り広げ、どうして大人にならない永遠の少年「ピーター・パン」になったのかを描いた作品を上演します。

●会員先行=11月7日(土) ●一般発売=11月15日(日) ●作=リック・エリス ●原作=デイヴ・バリ、リドリー・ピアソン ●音楽=ウエイン・パーカー ●翻訳=小宮山智津子 ●演出=ノゾエ征爾 ●出演=入野自由、豊原江理佳、宮崎吐夢、櫻井章喜ほか ●会場=PLAT主ホール ●料金=[全席指定]S席一般6,000円、A席一般4,000円ほか

発売延期

11/7 [土] 13:00 開演 / 18:00 開演

11/8 [日] 13:00 開演 / 17:00 開演

高校生と創る演劇『Yに浮かぶ』

●テキスト・演出=藤原佳奈 ●出演=オーディションで選考された高校生 ●会場=PLATアートスペース ●料金=[全席自由・日時指定・整理番号付]一般2,000円、高校生500円ほか
[特別協賛=サーラグループ]

好評発売中

11/14 [土] 14:30 開演

11/15 [日] 14:30 開演(追加公演)

PLAT小劇場シリーズ

アル☆カンパニー リーディング公演『POPPY!!!』

●作・演出=野田慈伸 ●出演=平田満、井上加奈子/町田水城、平田耕太郎、徳橋みのり、青山祥子 ●会場=PLATアートスペース ●料金=[全席自由・日時指定・整理番号付]一般1,000円ほか
[特別協賛=サーラグループ]

好評発売中

12/5 [土]・6 [日] 14:30 開演

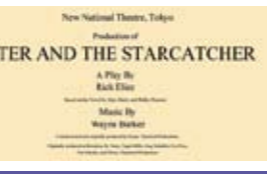
モダンタイムズ新作時代劇

『しがらみ紋次郎(仮題)』

中止



『Yに浮かぶ』



2021/1/29 [金] 19:00 開演

2021/1/30 [土] 13:00 開演 / 18:00 開演

2021/1/31 [日] 13:00 開演

PLAT小劇場シリーズ

マームとジブシー『BEACH BOOTS CYCLE』

ドイツのシューズブランド・trippenとマームとジブシーによるコラボレーション作品『BEACH』『BOOTS』と『CYCLE』を3作品連続上演します。
●会員先行=11月14日(土) ●一般発売=11月28日(土) ●作・演出=藤田貴大 ●会場=PLATアートスペース ●料金=[全席指定]一般3,500円、3作品セット券9,000円ほか

発売延期

1月30日13:00のみ

2021/2/7 [日] 15:30 開演

読売日本交響楽団 特別演奏会

華麗なるショパン&《展覧会の絵》

指揮者に原田慶太楼、ピアノに牛田智大を迎えた読売日本交響楽団のコンサートをお贈りします。
●会員先行=11月21日(土) ●一般発売=11月28日(土) ●指揮=原田慶太楼 ●ピアノ=牛田智大 ●曲目=グリンカ: 歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲、ショパン: ピアノ協奏曲第1番、ムソルグスキー: 組曲「展覧会の絵」(予定) ●会場=ライブポートとよはし コンサートホール ●料金=[全席指定]S席一般5,000円、A席一般3,500円ほか

発売延期

ライブポートとよはし



2021/2/20 [土]・21 [日] 13:00 開演

二兎社『ザ・空気 ver.3』

『ザ・空気』『ザ・空気 ver.2』に続く「メディアをめぐる空気」シリーズの第3弾をお届けします。

●会員先行=12月5日(土) ●一般発売=12月12日(土) ●作・演出=永井愛 ●出演=佐藤日作、和田正人、韓英恵、金子大地、神野三鈴 ●会場=PLAT主ホール ●料金=[全席指定]S席6,000円、A席5,000円、B席3,500円ほか

発売延期

2月20日のみ

2021/3/6 [土] 13:00 開演 / 18:00 開演

2021/3/7 [日] 13:00 開演

市民と創造する演劇『甘い丘』

PLATの芸術文化アドバイザー桑原裕子が2007・2009年にKAKUTAで上演し第52回岸田國士戯曲賞の最終候補、そして再演時に平成21年度第64回文化庁芸術祭新人賞を受賞した作品を、公募による市民出演者・スタッフとプロのスタッフで上演します。

●会員先行=2021年1月16日(土) ●一般発売=2021年1月23日(土) ●作・演出=桑原裕子 ●出演=オーディションで選考された市民 ●会場=PLATアートスペース ●料金=[全席指定]一般2,000円ほか
[助成:(一財)地域創造]

発売延期

3月6日13:00のみ

2021/3/13 [土] 13:00 開演 / 18:00 開演

2021/3/14 [日] 13:00 開演

PLAT小劇場シリーズ

木ノ下歌舞伎『義経千本桜一渡海屋・大物浦一』

2016年、木ノ下歌舞伎10周年の幕開けに上演した話題作。古典の名作が現代を射抜く逆襲劇。満を持してPLATに登場!
●会員先行=2021年1月16日(土) ●一般発売=2021年1月23日(土) ●作=竹田出雲、三好松洛、並木千柳 ●監修・補綴=木ノ下裕一 ●演出=多田淳之介 ●出演=佐藤誠、大石将弘、大川潤子、立蔵葉子、三島景太ほか ●会場=PLATアートスペース ●料金=[全席指定]一般3,500円ほか

発売延期

若手音楽教育事業

プラットワンコインコンサート

好評発売中

「若い音楽家には活躍の場を、お客様にはより音楽を楽しめる機会を提供する」と企画されたPLATオリジナルのワンコインコンサートです。500円で贅沢なひとときをお過ごしください。

●会場=PLATアートスペース ●料金=[全席自由・整理番号付]500円

11/26 [木] 19:00 開演

『フランスの風に乗せて』

Lis[リス]
波多野千夏(ソプラノ)、笈悠里(ヴァイオリン)、植田結衣(ピアノ)

12/24 [木] 14:00 開演

『フルートで贈る煌めく世界〜心躍るリズムに乗せて〜』

Trio Esters[トリオ・エステル]
満吉香苗(フルート)、岡田薫子(フルート)、鈴木風香(フルート)

古典遊学

シェイクスピア講座

〜シェイクスピア劇最大の進化?フォールスタッフをめぐる笑いと困惑〜

11/22 [日] 14:00 ~ 16:00
●講師=河合祥一郎 ●会場=PLATアートスペース ●料金=1,000円、高校生以下500円 ●定員=100名(先着順) ●申込方法=①申込書に必要事項を記入の上、窓口持参かFAX(0532-55-8192)②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。③プラットチケットセンターに電話(0532-39-3090)にて申込み。



撮影：相川博昭

私の所属する劇団「KAKUTA」の舞台公演『ひとよ』が、9月半ばに東京の千穠楽を迎えました。

この春、この夏、コロナ禍によっていくつもの仕事がなくなってしまったため、私が今年上演する舞台作品はこの一作がラスト。しかしこの公演さえ、無事に上演できるのかはギリギリまでわからない状況でした。東京に感染者が増え、またしても活動自粛を余儀なくされるかもしれない。稽古が出来ても途中で感染者が出て中止になってしまうかもしれない。その緊張は千穠楽のその瞬間まで絶え間なく続きました。

ほんの少しでも体が疲れていたり、夏バテでだるかったり、喉が渇いて起き抜けに咳き込んだりするだけで、背中に冷たいものが走りました。女性は生理前後にホルモンバランスが不安定になり、風邪に似た症状が起きることもしばしばあります。が、それもまたこの時期は「もしかして……？」と不安な気持ちを増幅させていたのです。

劇団員の知り合いや友人、アルバイト先に陽性者が出たというだけでPCR検査を受けねばなりません。その結果を待つ間、誰もが祈るような気持ちでした。

感染者は被害者です。いつ、誰がなるのかわからないし、徹底して管理しても感染してしまうことはあります。だからもし、誰かが新型コロナウイルスに罹患する、あるいは検査で陽性になったとしても、それは誰のせいでもない。それはたとえ自分だとしても。

わかっていても、もし自分が陽性になって広めてしまったら……私のはじまりで公演が

出来なくなったら……と考え始めると、眠れなくなる日もありました。

だから無事に初日がやってきたその日。カーテンコールでお客様の顔を見た瞬間、胸の奥に熱いものがこみ上げ、舞台上で挨拶していた私は一時、うっと言葉に詰まってしまいました。カーテンコールで、しかも初日で泣くなんて、演劇人としてあるまじきこととずっと思ってきたのです。

このときばかりは、自分でもどうにもなりません。

私たちの舞台を楽しみに観に来てくださった人たちは、私たちと同じく、この日を迎えるために体調管理に気をつけて来てくださっていたはず。入り口で体温検査をし、少し緊張しながら幕が開くのを待ってくださっていたはず。

たった二時間半を劇場で過ごすために、キャストもスタッフもお客さんも、みんなで努力したんだ、と思ったとき、「総合芸術」という言葉が浮かびました。

本来「総合芸術」とは、様々な分野の芸術の要素が合わさって作られるもののことを指しますが、作り手がいてお客さんがいて、同じ時間に集まり、決まった時間に「せえの」で始めるのが演劇。これもまた「総合芸術」と呼べるのではないかと？として、それらを見届けるお客さんもまた、芸術の作り手なのだと思ってくれたのです。

いや、ダンスや音楽ライブ、スポーツもそうですね。いやいや、飲食店も、企業も、ほんとうは人生そのものがそうですね。あなたがいるから私がいる。緊張や興奮、喜び悲しみ

を共に体験し、共有して互いに互いの存在を認め合う。そうして宇宙は成り立っているのだ！

……と、なんだかだいふ大きなところまで思考が飛んでいきましたが、そんなわけで日々、宇宙レベルの感謝を重ねながら、ついに無事千穠楽へたどり着きました。

私は今度こそ泣かないと決め、カーテンコールの挨拶に臨んだのですが、今作のラストシーンで圧巻の演技を見せた渡辺えりさんの、涙に濡れた顔を見た時点でもう危ない。

として、ゲスト俳優陣からひとことご挨拶を……という段になると、次々にキャストの瞳に水がたまっていくのです。東京ヴォードヴィルショーのまいど豊さんが声を詰まらせてスタッフへの感謝を述べたとき、ついにだめでした。

感動した千穠楽は今までも多く体験しましたが、こんなカーテンコールは初めてのこと。まいどさんは演劇人生30年舞台上で泣いたことなどなかったと言っていましたから、今回は特別だということにします。

最後にえりさんがご挨拶で「泣こうと思ってたのにみんな泣くから泣けなくなっちゃったよ!」とあって大笑い。

これを書いているのはまだ豊橋公演前ですから、大千穠楽はどうなっているかと想像しますが、今度はきっと全員、大きな笑顔で幕を閉じるのではないかと想像しています。

いや、そうしなければ！
早くまた、ただ笑顔で幕を開け、幕を閉じる、そんな日常をとりもどすためにも。

SUPPORT

知識製造業
三遠機材株式会社
http://www.san-en.co.jp

YOSHINO ASSOCIATES
architect engineers
吉野設計研究所
http://www.440a.co.jp

有限会社 魚伊
電話 52-5256

株式会社 竹尾建築設計事務所
代表取締役 竹尾 誠
豊橋事務所/豊橋市平川南町91-2 千440-0035 Tel.0532-62-1331(代) Fax.0532-62-1332
浜松事務所/浜松市東区流通元町13 千435-0007 Tel.053-422-3628(代)

グロリアンピアノ地域特約店
白羽楽器 株式会社
電話 053-464-3015

竹内産婦人科
産婦人科 婦人科(不妊治療)
豊橋市新本町23 (豊橋市西産婦人科) 053-464-3015

ケンチク 701
KURONO ARCHITECT STUDIO
y.qlo0170@gmail.com

うつ、統合失調症、精神遅滞、発達障害、脳梗塞、人工透析、人工関節など
豊橋・豊川障害年金相談センター
初回相談無料 ☎0120-891-498
豊橋市花中町 160-9 障害年金専門社会保険労務士 竹下英司

看板広告 アラキスタジオ
豊橋市上伝馬町16 電話52-5586番

本と文具なら
精文館書店
TEL.54-2345

ONOCOM なければつくる
株式会社オノコム

外科・内科・胃腸科・麻酔科・肛門科
医療法人栄真会 伊藤医院
豊橋市小池町字原下35 電話45-5283(代)

創業文政年間 数きく宗
豊橋市新本町40 電話52-5473番

調理と製菓のおいしい資格。
豊橋調理製菓専門学校
豊橋市八町通一丁目22-2 TEL.53-2809

豊橋銀行協会 (順不同)
三菱UFJ銀行 みずほ銀行 静岡銀行 名古屋銀行
三井住友銀行 三井住友信託銀行 清水銀行 第三銀行
十六銀行 愛知銀行 中京銀行 大垣共立銀行

創業江戸 喫茶兼菓子専門店
若松園
御菓子司

西村能舞台
豊橋市上伝馬町
代表=西村 能二
Mail=nnbntai@gmail.com

気まぐれコンサート
事務局/0532-62-9259(小川小恵)

安心・安全な地下駐車場
パーク500
ソウの親子の
看板が目印
プラット主ホール・アートスペース公演等へのお客様は
30分150円を30分100円(上限4時間まで)に割引します。

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・麻酔科
医療法人 塩之谷整形外科
理事長 塩之谷 昌 院長 塩之谷 香 副院長 市川義明
豊橋市植田町閑取54 電話 0532-25-2115(代)

豊橋名産 傘あくわ

井上皮フ科クリニック
診療時間 月・火・木・金 10:00~13:00 16:00~19:00
土 10:00~14:00 休診日=水・日・祝
電話 0532-55-7007 愛知県豊橋市向山町字畑13-1マイルストーン1F

プラス・ワンの付加価値をお客様に提供いたします。
共和印刷株式会社
豊橋市小池町36番地の1 TEL46-3281 FAX46-3285

整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科
医療法人 大岩整形外科・皮フ科
院長 大岩俊久 豊橋市大橋通二丁目115 電話55-2100

伝統的工芸品豊橋筆
書道用品専門店
高誠堂
豊橋市兵衛町四拾四番地 電話52-5514

ISO9001 ISO14001 愛知ブランド企業 認証・認定取得
株式会社 三光製作所
三光精密工業株式会社
豊橋市佐藤一丁目12番地の3

生活にファインクオリティ

sala

豊橋市八町通一丁目22-2 TEL.53-2809

広告募集

TICKET CENTER

チケットの購入・お問合せ
プラットチケットセンター

電話・窓口
0532-39-3090 [休館日を除く 10:00-19:00]
オンライン
http://toyohashi-at.jp [24時間受付・要事前登録]

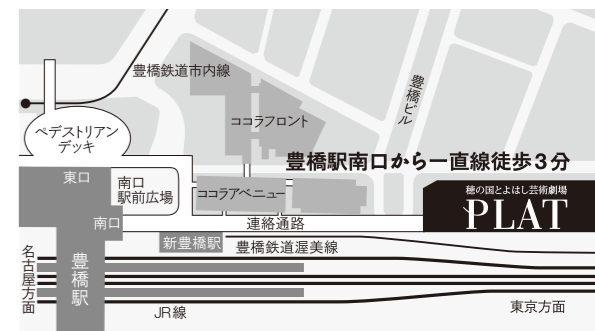


プラットフレンズ募集
入会金・年会費無料

特典
1 公演情報をメールでご案内します。
2 インターネットでチケット予約ができます。
3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約できます。
※劇場窓口またはホームページから登録いただけます。

U25・高校生以下割引ご案内

ほぼすべての財団主催公演に、
若い人にお得な料金を設定しています。
●料金
U25[25歳以下]:公演ごとに指定する席種の半額
高校生以下:1,000円
●購入方法
各公演の一般発売初日から取扱い。
●その他
本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。
座席の指定はできません。要・入場時本人確認書類提示。
一部例外あり。詳細は各公演チラシ・HPにて。



〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地
電話=0532-39-8810[代表]
開館=9:00-22:00 休館日=第三月曜・年末・年始。
第三月曜が祝日の場合はその翌平日。
豊橋駅(JR東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道)、
新豊橋駅(豊橋鉄道渥美線)直結。豊橋駅南口から徒歩3分。
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用いただくか、
お近くの公共駐車場等をご利用ください。

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT